

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.26》2015年4月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎  
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

3月中ほどまでは、大分でも最高気温が10度前後の寒い日々が続きましたが、このところ急に暖かい天気となり、桜ももう間もなく満開を迎える春の季節となりました。人の出入りのある新たな年度となりましたが、4月の大分県は、知事選などの選挙があるほか、県立美術館や新大分駅ビルのオープン、恒例の別府や由布院の温泉まつりなど、行事も目白押しです。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>

## 大分県の海外関連施策について



海外関連施策に携わる県職員が、皆さまがお住まいの国・地域に向けて実施している県の施策等をご紹介します。ぜひ、県のPR等にご協力ください!



農林水産部  
おおいたブランド推進課  
課長

矢野 格  
(Itaru YANO)

【連絡先 (Mail)】  
a15320@pref.oita.lg.jp

おおいたブランド推進課では、マーケット起点の商品づくりをコンセプトに県産農林水産物の流通改革や販路開拓、6次産業化や安全・安心な農産物づくりに取り組んでいます。

とりわけ海外輸出においては、東南アジア諸国の著しい経済発展や和食ブーム、食のグローバル化の中、輸出国の食文化などのマーケット情報やニーズを的確に捉え、マーケットインの取組を加速させることが重要であると感じています。

最近では、シンガポールに日田梨やしっとりとした甘さの「甘太くん」を初めて輸出しましたが、どちらも高い評価を得ております。今後とも、従来から多くの商品を輸出している台湾・香港などに加え、新たな取引先を開拓し、グローバル化に対応した産地づくりをめざしていくこととしています。

また、今年にはイタリアのミラノで国際博覧会が開催されます。国東半島宇佐地域世界農業遺産ブースを設け、乾しいたけなどをPRする予定です。

このように、海外輸出の促進には現地の生の声を活かしていくことが何よりも大切です。海外でご活躍の皆様からの声を是非ともお寄せ下さい。



シンガポールでの  
日田梨販売促進



シンガポールでの  
高糖度かんしょ甘太くん販売活動



タイ(バンコク)での商談会

## 海外大分県人会 交流掲示板



### ロサンゼルス大分県人会からのお便り

ロサンゼルス大分県人会 會田会長より  
2015年2月7日Gardena市にあるニューガーデナ・ホテル内の「はっぱレストラン」にて新年総会を開催しました。  
大分県人会の旗を囲み、故郷大分を懐かしみました。



**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事(3月)

## 注目記事

### 【3月2日(月)】ラグビーワールドカップ開催地に決定！！

2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの開催地の一つに大分県が選ばれました。大分県での大規模国際スポーツ大会の開催は、2002年のサッカーワールドカップ以来、17年ぶりとなります。開催地発表はW杯主催者「ワールドラグビー」の本部があるアイルランドのダブリンからライブ中継され、大分市ガレリア竹町のパブリックビューイング会場に集まった広瀬知事はじめ約470人の関係者やラグビースクールの子どもたちは固唾をのんでその瞬間を見守りました。開催地は北から順番に発表され、最後に「大分県」が呼ばれた時には、会場は大歓声に包まれました。

東京から駆けつけた大分県ラグビー大使の今泉清さんは、ラグビーを通じて大分県が一つになろうと「One Rugby, One Oita」を呼びかけました。ラグビーワールドカップの開催により、ラグビーやスポーツの振興はもとより、「おんせん県おおいた」の情報発信や観光面での大きな経済波及効果が期待されます。



パブリックビューイングの様子



開催決定を記念しての記念撮影



### 【3月18日(水)】米国よりハナミズキ寄贈「平和の懸け橋に」

1912年米国ワシントンD.C.に日本から三千本の桜が贈られ、多くの人を訪れる桜の名所となっています。米政府は100周年となる2012年に、新たな友好の木として「ハナミズキ」を贈る運動「ハナミズキ・イニシアチブ」を始めました。今回、宇佐市に「両国の平和の懸け橋」になる事を祈念して30本のハナミズキが県内で初めて贈られ、フェッジキフ在福岡米国首席領事等をお迎えして植樹式が行われました。



植樹式にて

※国際政策課にて新聞等を元に作成



### 台湾にて大分県をPRしてきました！

3月22日(日)に、台湾から大分県へチャーター便が飛来し、約150名の台湾の方が大分県を訪れました。そのチャーター便を利用し3月22日(日)～3月25日(水)の間、大分県工業連合会をはじめ食品加工業や観光関係者など官民の36名が台湾を訪れ、現地企業と商談を行うなど大分県をPRしてきました。期間中、台湾の大手企業グループを中心とする民間の国際交流団体「三三会」及び日台の中小企業の技術協力促進を目的とする「台日商務交流協進会」の方々との交流会を行うほか、台湾大分県人会及びAPU台湾校友会の方々との懇親会を開催し、故郷大分県の話で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。

地理的にも近く、親日的な台湾において、引き続き大分県のPRに力を注いでいきます！！



台湾大分県人会及びAPU台湾校友会の皆様と

# 世界に広がる OITA ネットワーク

## 平成26年度「めじろん海外特派員(留学生OB)」のご紹介

県内大学を今春卒業する留学生の中から以下の3名を新たに、「めじろん海外特派員」に任命しました。県観光・物産PRや県人会の皆さんとの交流など、県の応援団として海外事業にご協力いただきます。大分県を第二の故郷としてとても大切にされる方々です。ぜひとも皆さまと交流いただければ幸いです。



### めじろん海外特派員任命式

【3月4日 任命式】  
二日市副知事より  
任命状を交付。  
(左から)  
孫 永杓さん、  
二日市副知事、  
劉 倩さん



【3月12日 任命式】  
国際政策課長より  
任命状を交付。  
(左から)  
堀課長、  
趙 唯琳さん  
和田主幹



### リュウ セイ 劉 倩さん



中国 湖北省出身  
大分大学院卒  
中国 湖北省帰国

大分県の皆さん、こんにちは。私は、2012年から大分大学経済研究科に入学し、企業ファイナンスを専攻し、今年3月に卒業しました。

中国武漢出身ですので、来日する前、友好都市である大分市に凄く興味を持って、大分大学に入学することを決めました。

友好交流を願う両市民との触れ合いや、異文化に対する相互理解を進めていきたいと考えて、大分で過ごした2年間は、両国の交流イベントに通訳や事務の補佐などを行って様々な行事に参加しました。

卒業後は、微力ながら、両市、両国の絆がより深くなるように、今までの経験を活かして、日中友好の活動を促進できるよう努めてまいります。

皆さまどうぞよろしくお願ひします。



### ザオ ウェイリン 趙 唯琳さん



中国 上海出身  
APU大学院卒  
(株)JTB総合研究所  
就職



大分県の皆様、はじめまして。2013年4月から立命館アジア太平洋大学で観光を専攻し、2年間大分での生活を満喫してきました。北の国東、姫島から南の臼杵まで、大分の多彩な景色や美味しい特産品などを自分の五感で深く味わう事ができました。冬に湯けむり溢れる温泉、夏に海浜の花火祭り、どれも短い留学生生活を彩ってくれました。

4月からは観光調査研究に関わる仕事を始める予定となります。勤務先は大分県内ではありませんが、仕事で大分を訪問する事を楽しみにしています。この度、めじろん海外特派員に任命して頂いて、非常に光栄に思っています。これから大分のいいところを周りの人に伝え、より多くの方が大分に興味をもってくれるように頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

### ソン ヨンピョ 孫 永杓さん



韓国出身  
日本文理大学卒  
杉乃井ホテル就職



私は様々な交流で大分県に魅力を感じ、社会に出ても大分県と関わられるように就職先も大分県で探しました。そして、外国の人々が多く観光で訪れる別府市の企業に就職する事となりました。

今年からは社会人になります。また、九州観光推進機構主催の「九州アジア観光アイランド特区ガイド」にも合格でき、一人前のガイドとして活躍できることになりました。今までに色々な知識を学び、大分県民の心の豊かさに触れあってきた事を生かして今後、この特区ガイドとしても九州、特に大分県を広報したいと考えております。

また、大分県からは「めじろん海外特派員」になる機会を頂きましたので、これまで以上の多くの人々、世界や日本全国に大分県について広報したり様々な情報を提供していきたいと思ひます。



## 【県国際交流員の林泰男 さん(韓国)

## 楊鋼 さん(中国)が離任します】

県の国際交流員として活躍した林泰男さん(韓国)、楊鋼さん(中国)が、この度任期を終えます。林さん、楊さんには海外プロモーションにかかる通訳・翻訳や、韓国・中国の児童・生徒と県内の児童・生徒との交流事業での通訳等、多岐にわたり貢献頂きました。



林 泰男  
(Lim Taenam)  
韓国

任期:2010年4月14日  
～2015年4月13日

時間の流れとは速いもので、大分空港に降り立ったのがつい先日のようなのいつの間にか国際交流員としての時間もあと少しとなりました。初めて大分に着いてまだ右も左もわからなかったときにいきなり専門分野の協議の通訳を任されてどきまぎしたことも今ではいい思い出です。

少しずつ仕事や生活に慣れてきた2年目の初めに起きた東日本大震災で私の仕事も大きな影響を受けざるを得ませんでした。原発事故で韓国にも放射能の恐怖が広がる中、九州の安全をアピールするプロモーションに携わることになり、自分も韓国の人々に大分は大丈夫だと精一杯訴えました。

ほかにも学生交流事業や講座などを通じて大分の皆さんには韓国について、また大分のことを韓国の人々に知ってもらえるよう努力してまいりました。また私自身も大分の生活になじんできて、とり天やかぼすジュースは今や大好物になりました。

これから先、また新しい一步を踏み出すにあたり期待も不安もありますが、どこへ行こうとも大分の皆さんの温かさを忘れることなく頑張っていくつもりです。そして韓国の人々に彼らがまだ知らない素敵な大分の魅力を伝えていきたいと思ひます。



楊 鋼  
(Yang Gang)  
中国(湖北省)

任期:2014年4月10日  
～2015年4月9日



桜が咲く3月を迎え、そろそろ帰国の時期になります。皆さんのおかげで、別府や湯布院も全然知らなかった私が、この一年間で18の市町村を全部回りました。ソーマン流し、七夕まつり、臼杵竹宵、梅まつりなど様々なイベントを見学して、県内の美しい景色や美味しい料理も楽しみました。

また、国際理解出前講座や学校交流などで会った子供たちの笑顔や元気いっばい様子も強く印象に残っています。自分の仕事や努力が、少しでも両国の子供たちの相互理解に役に立てば嬉しいと思ひます。これからも大分県の魅力をPRすることや若者たちの相互交流を促進することに力を貢献していきたいと思ひております。

日本には「一期一会」という言い方がありますが、中国では「後会有期(再会の時はまた有る)」という言葉はよく使われています。これからはいつか、どこかで皆さんと再会することを心から期待しております。以上を持ちまして、お別れの挨拶と致します。

## ブラジル県人会研修生 麻生 誠一さんが帰国



2014年3月から日本語の研修生として来県していましたが、1年間の研修を無事修了し、ブラジルへ帰国しました。

3月4日(木)に知事と副知事への研修終了挨拶を行い、めじろん海外特派員に任命されました。挨拶では、最も印象に残った出来事として、祖父等の出身地である由布市庄内町平石地区の訪問について話しました。また、ブラジルでは建築学専攻だったこともあり、大分県立美術館の工事現場の見学や誕生祭への参加、磯崎新と坂茂の対談イベントへの参加について話すほか、別科での勉強は大変でしたが一生懸命に取り組み、修了式では学生代表として答辞を読んだことなどを報告しました。

知事からは、「帰国後、県人会の一員として、ブラジルとの懸け橋となる活躍を期待しています。」との激励がありました。



## From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング  
(Miriam Starling)  
県国際交流員  
英国  
[pu101503@pref.oita.jp](mailto:pu101503@pref.oita.jp)

3月15日に、友人と一緒に『おおいた駅前ラーメン博2015』に行きました。日本の様々な県特有ラーメンが食べられるイベントです。私は和食を食べるのが大好きなので、すごく楽しみにしていました。その日は雨がたくさん降りましたが、傘を持ちながら、暖かいラーメンを食べるのは楽しかったです。美味しい料理なら待つのは全然構いません！私が食べたのは東京塩ラーメンですが、鹿児島、大阪などの他の都道府県のラーメンや、塩ラーメンだけではなく、豚骨ラーメン、醤油ラーメン等もありました。全部食べてみたかったのですが、残念ながらワン・ボールを食べたら、おなかいっぱいになりました！



## なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【由布市／国東市】



(由布市)  
「辻馬車」



(由布市)  
「庄内神楽」



(国東市)  
「両子寺 仁王像」



(国東市)  
「ケベス祭り」



## 話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】  
国際政策課 担当:佐藤 佳香(さとう よしか)  
【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)



## 【編集後記】



海外戦略班 主任  
猿渡 崇人

「二年間大変お世話になりました。」

海外大分県関係者の皆さま、編集担当の猿渡でございます。この度の人事異動により国際政策課を離れることになりました。創刊より皆さまには大変お世話になり感謝いたしております。今後とも情報誌「What's up, OITA!」を通じ、世界の関係者の皆さまの交流が図られることを祈念いたします。

※今後のご連絡は、右記メールアドレスへお願いします

## 【お知らせ】

### フィリピン大分県人会員募集

同国にて県人会発足のため県関係者を探しておられます。ご希望の方は上記アドレスへご一報ください。よろしくお願いいたします。